

指定管理者施設の管理運営状況評価(モニタリング)シート(平成25年度事業分)

1 施設の概要

施設名	山梨県立本栖湖青少年スポーツセンター	所管課	スポーツ健康課
所在地	南都留郡富士河口湖町本栖210	設置年月日 (改築年月日等)	平成7年4月1日
管理方式	指定管理者(公益財団法人山梨県体育協会、平成18年4月1日～)		
設置根拠 (法律、条例等)	山梨県立本栖湖青少年スポーツセンター設置及び管理条例		
設置目的	豊かな自然とのふれあいの中で、青少年に集団宿泊生活及びスポーツ活動の機会と場を提供し、もって青少年の心身の健全な発達に寄与するため。		
主な施設内容 (定員等)	本館(事務所、宿泊棟)(宿泊73人)、新館(宿泊棟)(宿泊133人) 体育館(バスケットボール(バレーボール)コート1面) 運動場(400mトラック、フィールド)、キャンプ場(300人収容)		
主な業務内容	利用の承認に関する業務 施設及び設備器具の維持保全に関する業務 その他教育委員会が必要と認める業務		

2 類似施設・近隣施設

名称 施設内容 利用状況等	県立青少年センター:体育館、研修室・会議室、宿泊施設、運動場、屋内プール等 富士北麓公園:陸上競技場、球技場、体育館 本栖湖青少年スポーツセンターは、富士北麓地域では唯一の宿泊施設を併せ持つスポーツ施設である。
---------------------	---

3 利用状況

単位:人、%

		平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度 (目標値)
利用者数	体育施設利用者数	15,186	16,319	14,156	
	キャンプ場利用者数	5,091	5,167	5,282	
	宿泊施設利用者数	14,324	12,269	12,060	
	利用者数合計	34,601	33,755	31,498	
	目標値	40,000	39,500	39,500	39,500
	目標値設定の考え方	H20年度の目標値を基準とし、さらに新規利用者の集客を見込む。	H20年度の目標値を基準とする。	H20年度の目標値を基準とする。	H20年度の目標値を基準とする。
	対23年度比	100.0%	97.6%	91.0%	114.2%
稼働率					

## 4 収支状況

単位:円、%

		平成24年度 (実績値)	平成25年度 (計画値)	平成25年度 (実績値)	平成26年度 (計画値)
収入	施設利用料	11,344,650	13,500,000	10,754,210	13,886,000
	指定管理者委託料	20,497,000	20,869,000	20,869,000	21,719,000
	その他	0	0	0	0
	収入合計(A)	31,841,650	34,369,000	31,623,210	35,605,000
支出	人件費	18,317,129	20,705,000	16,473,835	21,002,000
	県への納付金	0	0	0	0
	管理運営費	13,792,356	13,664,000	13,440,976	14,603,000
	(うち外部委託費)(B)	3,643,108	4,049,000	3,654,347	4,095,000
	支出合計(C)	32,109,485	34,369,000	29,914,811	35,605,000
収支差額(A - C)		267,835	0	1,708,399	0
外部委託比率(B ÷ C)		11.3%	11.8%	12.2%	11.5%
利用者一人当りの経費		607	528	663	550

## 5 利用者満足度

実施方法等	実施時期:平成26年5月、7月、8月、9月、年末年始 実施方法:貸館利用者へのアンケート 回答数:100人
-------	---

単位: %

調査項目	満足・十分	普通・ どちらでもない	不満足・ 不十分	不明・ わからない
施設・設備管理	99.0%	0.0%	1.0%	0.0%
利用規程	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%
受付・接客	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%
食事サービス	98.0%	0.0%	2.0%	0.0%
自主事業(年末年始営業)	89.0%	0.0%	0.0%	11.0%
各項目の平均	97.2%	0.0%	0.6%	2.2%

利用者の意見	<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用しやすいように少しずつ補修、整備されていて、安心して利用することができます。</li> <li>・グラウンドの芝を整備してほしい。</li> <li>・体育館の照明が暗い。</li> <li>・アレルギーに対応してくれた。</li> <li>・頂上からダイヤモンド富士を見ることができ、素晴らしい思い出になりました。ありがとうございます。</li> </ul>
利用者の意見への対応	<ul style="list-style-type: none"> <li>・至急改善すべき個所がある場合には、修繕や改善を行った。</li> <li>・職員の意識の徹底を図り、改善を行った。</li> <li>・環境美化を行い、利用しやすい環境づくりを行った。</li> <li>・食事委託業者に利用者の要望を伝え、協議を行った。</li> </ul>

6 評価結果

	指定管理者の自己評価	施設所管課の評価
維持管理業務	業務計画書のとおり行った。 支給改善すべき箇所がある場合には、 修繕や改善を行った。 環境美化を行い、利用しやすい環境づ くりを行った。	施設の維持管理については、事業報告 書や現地確認の結果、適正に業務執行 されている。 引き続き事業計画書どおり適正に業務 を行うこと。
運営業務	業務計画書のとおり行った。 職員の意識の徹底を図り、改善を行っ た。 今後も、より満足いただけるよう利用者 サービスに努める。	施設の運営業務については、事業報告 書や現地確認の結果、適正に業務執行 されている。 引き続き事業計画書どおり適正に業務 を行うこと。
自主事業	業務計画書のとおり行った。 例年通り、乾燥機、自動販売機、カップ 麺、薪類は好評を得られた。	自主事業については事業計画書どおり 業務が行われていることを確認した。 引き続き積極的に自主事業を計画し、 利用者へのサービス向上に努めること。
利用状況	昨年度と比べ、人数減となった。 少子化の影響もあり、各団体の人員が 毎年減少していることが挙げられる。 当センターとして、2～3年前まで利用が あった団体に対し、パンフレット等を送付 しPRを行った。	利用者の拡大に繋がるよう、創意工夫し たPR活動や情報提供に一層努めるこ と。 平成23年度より利用状況は減少となり、 目標値を下回る結果となっているため、 利用者の増加拡大に繋がる創意工夫を 行うこと。
収支状況	人数の減少に伴い、収入も減少した。 支出に関しては雨漏り等の修繕が多く、 費用が多くかかってしまったが、消耗品 や燃料費を抑える等の経営努力を行っ た。	利用者の安全性の確保や利便性の向 上に必要な修繕や備品の購入を行うな かで、計画以上に支出を抑えていること は評価できる。
利用者満足度	環境美化に努めることにより、利用者か ら綺麗になったとの声が多数寄せられ た。 施設内の修繕等で至急対応できるもの は改善した。 今後も利用者の声を聞き、改善できると ころはすぐに対応していきたい。	施設は設置から相当期間経過し、老朽 化しているため、改善要望が多くあるに も関わらず、職員の親切な対応が利 用者に評価されているものと思われる。
運営目標の達 成状況	運営方針について、スポーツ機会と場の提供や心身の健全な発達に寄与した。 利用者数の減少(対23年度比91%)のため、収入に関して、目標額に達することは できなかったが、その分支出を抑える努力をした。 広報活動については過去に利用した団体に対し、パンフレット等を送付し、利用 促進に努めたため、概ね目標は達成できた。	
施設所管課によ る総合的な評価 及び指導事項	維持管理業務、運営業務等については概ね適正に実施されている。 センターは老朽化が著しい施設であるが、この管理の難しい施設を大きな事故も なく管理している点は評価できる。 今後は、一層の経費削減と増収に努めること。 利用者ニーズを把握するとともに、利用者の意見には条例、協定等に基づき可能 な限り対応すること。	
施設所管課の 指導事項に対す る指定管理者の 対応状況	施設内の環境美化や維持管理を徹底し、更なる収入増を見込む。 経費については次年度も削減できるように努める。 利用者ニーズの収集に努め、可能な限り対応していく。	

7 管理体制(組織図)



所長	1人
主事	1人
臨時職員	2人
非常勤の臨時職員	1人
合計	5人